

# 会員だより

1982  
2  
NO.8



◆発行 所沢市高齢者事業団

所沢市西新井町20-1 ☎0429(95)0095・0044

## 法人化移行にあたって

理事長 増村 敏雄

事業団では昨年十二月の役員会で「社団法人シルバー人材センター」への移行方針を決定し、去る一月の理事会を発起人会として、四月一日発足を期してその申請手続の準備を進めています。



事業団の法人化とは法的に人格のない現在の事業団（任意団体）が、法人格を取得して国の施策により補助金を受けられる「社団法人シルバー人材センター」という法人になることをいいます。

法人化の社会的意義等については「設立趣意書」の中で明確にされているとおりであります。そして国の補助金を受けるためには、当然その対象団体としての基準が定められていますが、当事業団は会員皆様の御協力のお陰で、基準項目の大方をすでに具備しています。従って、移行後も事業団の性格、事務処理等は現在の継続と解されて結構であります。

みごとに成長した皆様の事業団の限りない発展のため、そして後に続く次の世代に立派な事業団を残していただくため、格別の御理解と御協力をお願いいたします。



# 社団法人シルバー人材センター所沢市高齢者事業団 設立趣意書

本格的な高齢化社会の到来を迎えて、健康な働く意欲のある高齢者が増大しているが、なかでも職業生活引退後にあつて、なお自らの経験と能力を生かして、就労の機会を求める高齢者の増加がみられている。

このような状況のもとにあつて所沢市高齢者事業団は埼玉県及び所沢市の指導援助を受けながら、自主生活の向上と「生きがい」「健康」「社会参加」を求めて、その居住している地域において就労したいという高齢者の経験、能力、希望を生かし、相互連帯と協力のもとに自主的組織として昭和53年10月20日に発足した。

当事業団は、地域社会に開かれた団体として地域住民及び地域諸団体の協力を得ながら高齢者市民の就労の促進と福祉の増進に努めるとともに高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを目指して活動を続けてきた。

年を重ねると共に、社会の高齢化が進むにつれ、本事業の対象となる高齢者も年々増加し、一方、地域社会の側からの当事業団に寄せる期待も増大し、事業活動は逐次拡充を遂げてきている。

国も国家的見地からこの事業についての重要性を認識し「高年齢者労働能力活用事業」(シルバー人材センター)として国の施策に取り入れ推進するに至った。

埼玉県高齢者事業団推進協議会基本問題検討部会においても高齢者事業団の今後のあり方について検討されているところであり、当事業団としては、この機会に今後における事業推進の展望にたつてこの事業のより一層の発展をめざす一環として、人格なき社団としての運営を社団法人化することにより、地域高齢者の就労に関する各種事業を総合的に行い、これまでの事業の公益的、公共的性格を名実共に明確化し、法的安定を確保することとする。

さらに、このことを通じて国の新しい施策との接合を果たし本事業の一層の発展を期するため「社団法人シルバー人材センター所沢市高齢者事業団」を設立するものである。



# 社団法人に移行されると

1. 社会的に認知される。
2. 法律関係の安定(登記法上の登記をする)
3. 国庫補助金の導入により県や市の財政負担が軽減される。
4. 全国的に法人化(シルバー人材センター)が主流となっている。
5. 車などの財産取得について法人名で行われる。
6. 税金が減免される。

## 社団法人移行日程(予定)

月 日	項 目	備 考
57年 1月13日	発起人会(役員会)	趣意書、定款(案)等の審議
21日	法人化移行説明会	登録会員対象
2月1日	予備審査書類の提出	県知事あて
12日	主務官庁予備審査	県庁会議室
〃	役員会	総会議案書審議
24日	臨時総会・設立総会	
3月5日	設立申請書提出	県知事あて
20~31日	設 立 許 可	予 定
4月1日	社団法人シルバー人材センター 所沢市高齢者事業団設立発足	
5日	設 立 登 記	財産移転

## 事業実績(11月~12月)

区分 月別	会員数	仕事の 受託件数	就 労 実人員	配 分 金	契 約 高
11月	374 <sup>人</sup>	202 <sup>件</sup>	104(15) <sup>人</sup>	6,165,935 <sup>円</sup>	6,766,930 <sup>円</sup>
12月	378	149	108(20)	6,086,807	6,458,472

( )は女子で内数です。



## 俳句

旧町地区 栗原 狭山

- 猟犬もかの男装も瀟洒たり
- 冴え返える心とがれば香をきく
- 老艶という言葉あり寒牡丹

## 川柳

三ヶ島地区 須田 金三

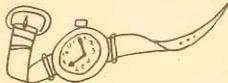
- 巨人の名納得できて秋も暮れ
- うたた寝の派閥目覚める改造期
- 居ねむりを引けば会期は足りるはず

## 短歌

三ヶ島地区 村田 福治

- この齢を鍍金工場にアルバイト  
作歌忘れる汗してみたり
- 20パーセントの降雨予報に傘持たず  
濡れつつ帰る自転車踏みて

## 編集後記



今回は1月21日に開催された法人化移行説明会に、おいでになれなかった方にも御理解をいただくための特集といたしました。

いよいよ、当事業団も法人化の仲間入りをして、名実共に充実した、真に地域の皆さんに役にたつ事業団となることを誓いたいと思います。